

性差の分類 社会的性別（ジェンダー）の影響が **ある** 社会（一例）

生まれつき

①生まれつきの性別 脳機能の性差は確認されていません



社会的性別（ジェンダー）による性別間の格差

②ジェンダーバイアス 性別(①)に役割を期待する意識

「男の子」は勉強して会社で出世するんだぞ！

無意識の固定観念

「女の子」は結婚して家庭を守って家族を支えてね！

無意識の固定観念

無意識の固定観念

周囲の意識から「性別」を理由にした固定観念が定着します

「男性」だから…

「女性」だから…

長い成長過程、社会経験等を通じて、ジェンダー（社会的性別）が形成

③ジェンダーギャップ ②などで形成した社会的性別の格差

親や社会の性別役割意識

「男性だから」

「女性だから」

- ・「男性だから」仕事に専念すべきという責任が負担に
- ・日本のジェンダーギャップ指数は 120 位
- ・男性の育休取得率 12%
- ・女性の平均所得は男性の 49%
- ・女性管理職比率は 8.9%
- ・パートタイム女性は男性の約 3 倍
- ・育児、家庭、介護等の負担

数値は国税庁 厚労省 WEF（2019～2021）

性差の分類 社会的性別（ジェンダー）の影響が **ない** 社会（一例）

生まれつき

①生まれつきの性別 脳機能の性差は確認されていません



社会的性別（ジェンダー）による性別間の格差がない

②対策 「性別」ではなく「個性」に着目して話し合う

「この子」にはどんなことが向いているのかな

「この子」はどんなことをしたいのかな

起業家 消防士 保育士 科学者
主夫・主婦 会社員 建築業
介護士 結婚 子育て 美容師
育児 農業 家業の後継ぎ 等

「性別」を理由にした発言を控え
「個性」に着目して話し合しましょう

夢の実現には様々な困難を要しますが、ジェンダー（社会的性別）が、進路の選択肢等を狭めないよう、家庭、社会全体の協力が必要

③対策 「性別」に格差がない社会をみんなで作る

（自他共に）性別を理由に社会や家庭での活躍機会を制限しない
それぞれが個性を活かして社会に貢献できるよう協力しあう